

探Q NEWS

探究進学科・文科・理科の活動を発信します

Vol. 7

「アフリカから世界を見てみよう」

福井大学教職員大学 高田宏人准教授

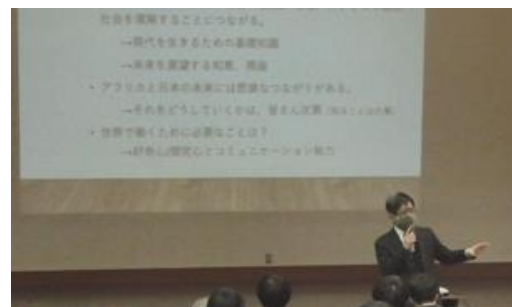
1, 2 年の探究科の生徒たちがアフリカとそれを取り巻く国際関係についての講義を受けました。SDGs から見る世界の現状、アフリカの基本情報、そこから見えるアフリカの多様性、また経済・社会・平和を目的に行われている日本からの支援について学びました。福井大学教職員大学・高田宏人准教授から「アフリカとの協力体制は私達一人一人にかかっている、現状をしっかり学んで友好的関係を築いてほしい」というメッセージを頂きました。

2月20日には、マラウイ、ウガンダ、エチオピア、南アフリカから 8 人の教育関係者(校長先生・公務員の方)が来校予定です。今回の講義で「これってどういう事なのだろう?」と考えた疑問について、生徒自身が探究し、来校される方との交流を通して学んで欲しいと考えています。

生徒感想

・私も外国の問題を解決するために、国際学を学べる大学を目指しているので、いつか私も同じようなことが出来ればいいなと思いました。今からでも自分が出来る小さなことを考えたいです。また、アフリカについてこれからも学び続けたいです。

Vol.6.R5.1.16



・講義を聞いて、アフリカの負のイメージが大きかったけれど、それを超える様々な可能性を持つ、魅力的な天然資源、多様な民族言語を持つ素晴らしい国々だと思いました。しかしその可能性だけでは発達しないことや問題解決の難しさも分かりました。僕たち武生高校生が行っている探究活動も SDG s につなげるというのが根本的な目標なので、課題研究を継続して、少しでも役立てるように頑張ります。

・改めて実際に途上国での生活支援活動にかかわってきた方のお話は好奇心が湧くものが多いと感じました。日本が行っている支援の内容や、アフリカが成長してきている部分など、新しく知ることがたくさんありました。これからも好奇心や探究心を忘れず、様々な人たちとコミュニケーションをとりながら国際理解につなげていきたいです。

口頭発表、ポスター発表、論文・報告書に むけて理解を深める」

仁愛大学 西出和彦教授

2 年探究理科・探究文科の生徒が課題研究の口頭発表、ポスター発表、論文・報告書作成についての講義を受けました。

IMRaD 形式の確認を行い、スライド作成においては 1 枚のスライドに 1 枚のメッセージ、文字は短くシンプルに、など具体的に教えていただきました。ポスターは 1 枚で論理展開が明確に見えるように、などの助言があり、生徒はこれまでぼんやりとした作成についての知識が明確になったようでした。

また質疑応答では「積極的に質問すること」や、発表者の視点からは「聞かれたことに答える」ことが大事だということをおっしゃっていました。

生徒たちはこの講義を基に 2 月・3 月に開催される課題研究の発表会に臨みます。校外の発表会にも参加する班もあり、分かりやすい口頭発表・ポスター発表のための技術を活用してほしいと考えています。

